

# 令和七年茨城県支部俳句大会成績（事前投句）

日時 令和七年十一月十四日

場所 水戸市・茨城県立青少年会館

本部選者 藤本美和子（俳人協会理事「泉」主宰）

## 藤本美和子特選（本部選者）

後手を組めば老人稲の花

小島千代乃

爽やかや球果あまたの百年樹

関 道子

新米の袋はちきれそうに立つ

中島 暉子

## 大竹多可志特選

原発の地やひまはりの群れて咲く

中村 孝道

菊日和母はミシンを踏みにけり

平野 悦子

みのり田を刈れば遠退く筑波かな

小川みのる

## 笹川昌子特選

たましひは彷徨ふものか秋の蝶

矢須 恵由

秋灯や蔵書に小さき文字ばかり

坂場 俊仁

秋日和色紙掛軸など替へて

大西 周

## 天下井誠史特選

筆跡に現るるひとがら秋ざくら

永山 憲子

お風入れ丈は丈五の千手仏

木村 芳之

空蟬の蛻く力のままにあり

金子 浩子

## 今瀬剛一特選

いづれまた出会ふ日もあり秋燕

中村 孝道

終戦日うつくしき水残りけり

高橋 葉子

海鼠壁つづく水路や秋の旅

大山とし子

## 桜井筑蛙特選

珈琲を濃く立向かふ残暑かな

小島千代乃

おにぎりの艶も香りも今年米

大島 良子

老いるほど父に似てくる青蜜柑

坂場 俊仁

小川みのる特選

今年米離農の手紙添へられて

平野 悦子

坂場俊仁特選

新涼や手のひらにのせ切る豆腐

永井 弘子

永山憲子特選

新米の袋はじきれそうに立つ

中島 暉子

矢須恵由特選

秋惜しみをり文殻を焼きながら

永山 憲子

岡崎桂子特選

重ね来し戦後の日日や法師蟬

高井まさ江

松浦敬親特選

満月をこはさぬやうに窓を拭く

石塚 一夫

草野大作特選

黄昏は誰かの夜明け鳥渡る

砂金 祐年

大山とし子特選

新米の袋はちきれそうに立つ

中島 暉子

大西朋特選

牧閉ぢて大きな空の残りけり

永山 憲子

栃木絵津子特選

今年米離農の手紙添へられて

平野 悦子

平野悦子特選

秋の灯を寄せればゲラの朱のひかる

永山 憲子

和田ゑみこ特選

大仏を立たせてみたし秋の空

山崎マサ子

井川水衛特選

曼珠沙華白は異端の色なるや

小貫 清美

永井弘子特選

あかがねの農夫のかいな稲の波

杉山 昭風

入選作品（1位～18位）

新米の袋はちきれそうに立つ

中島 暉子

今年米離農の手紙添へられて

平野 悦子

後手を組めば老人稲の花

小島千代乃

図書館へ長き坂道小鳥来る

笹川 昌子

原発の地やひまはりの群れて咲く

中村 孝道

秋灯や蔵書に小さき文字ばかり

坂場 俊仁

新涼の風満帆に帆曳船

横田 和己

古民家の土間ひんやりとちちろ虫

大山とし子

杜甫が好き李白が好きと新走り

鳥羽田重直

代代の暖簾護りて新豆腐

山田みき子

平凡な一日もよしリング剥く

大木 明子

ひぐらしにつつまれてゐる端居かな

中村 孝道

回廊の屋根は茅葺き添水鳴る

印南 美都

廃校に子等の似顔絵秋高し

眞家 薺風

オカリナの音透き通る夕花野

北浦 残月

炎天や鱗かがやく地引網

小山 吾浪

畦道に並ぶ軽トラ豊の秋

山本 慶子